（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	赤からピンクへ！「桜と松の郷」花咲か爺さんプロジェクト
事業主体 （連絡先）	KIKAZARI 代表　市川 090-4543-5760
事業区分	（５）環境保全・景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,886,753 円（うち支援金：1,387,000 円）

事 業 内 容

筑北村には、桜花木と正月飾り用の三段松の 2 つの木の産業がある。しかし桜花木は生産者が高齢化していて後継者がおらず、三段松は松枯れの広がりにより継続的な生産が難しい状況にある。松枯れで地域の景観がイメージダウンする中で、2 つの木の産業に付加価値をつけて盛り上げていき、桜と松を地域の風景として残るように活動している。

・桜花木畑で花見イベントの開催、フォトコンテスト開催
・本城地域に桜の植樹 50 本、赤松の植樹 130 本
・松枯れ材や松枯れのリスクのある赤松の伐採
・チッパーを導入して桜の燻製チップの製造を開始
・正月飾り講習会の開催、松葉茶の試作

【西条温泉とくら裏に植樹した桜】

【目標・ねらい】

① 松枯れ跡地に桜の植樹
② 桜花木の廃棄材 0 へ
③ 桜畑の観光利用

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

村内でも目立つ位置にある西条温泉とくら裏に桜の植樹をすることができた。この場所は松枯れ被害地であったことから、事業名通り赤からピンクへ！を実行することができた。市民タイムスにも取り上げて頂き、松枯れした山を放置するのではなく、整備するという選択肢を村民に示すことができた。

チッパーの導入により桜花木生産に伴う廃棄材の有効活用が大きく進めるようになった。年間 150 ㎏の燻製チップの生産を目指す。また地域に移転してきた燻製工房燻丸と協力して、地域の資源を使った地域ならではの商品開発を進めることができるようになった。

※自己評価【B】

【理由】
令和 5 年度で基盤を整えることができた。これからも活動を継続していき、桜と松の郷を確立させていきたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

村内の松枯れ山は放置される傾向にある。しかし厄介がって放置するのではなく、更新していくチャンスということを示していきたい。まずは今年度植えた桜をしっかり管理していき、松枯れ跡地にきれいな桜を咲かせていきたい。並行して、できる範囲でほかの松枯れ跡地にも桜を植えていく活動を続けていき、赤からピンクへ！をますます進めていきたい。

桜と松の郷ならではの商品開発を進めていく。燻製工房燻丸と協力していき桜チップを活用を進めていく。また松葉茶も今後商品化を検討していく。相乗効果で筑北産の桜花木や三段松そのものの認知度を高めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある